

秦野・伊勢原地域循環型社会形成推進地域計画に係る改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
秦野・伊勢原地域	秦野市 伊勢原市 秦野市伊勢原市環境衛生組合	平成18年度～平成24年度	平成17年度～平成24年度

1 目標の達成状況について

平成25年度循環型社会形成推進地域計画目標達成報告書において、目標が達成できず、改善計画が必要な「事業系ごみ総排出量」については次のとおりです。

現状(平成17年度)	目標(A:平成25年度)	実績(B:平成25年度)	実績B/A
14,153 t	12,738 t	13,091 t	102.8%

2 要因の分析

事業系ごみの総排出量については秦野市商工会議所が実施した平成25年度景況調査によると商業が売上高で前年同期比プラス32.7ポイントを示すなど全業種で回復傾向にあり、この景気回復に伴う事業活動の活発化が事業系廃棄物の総排出量増加の要因と考えられます。

3 改善計画

秦野市における事業系ごみ総排出量の平成25年度目標は、平成17年度比10%削減の7,918 tとしましたが、当該計画期間における施策では目標の達成に至りませんでした。このため、事業系廃棄物の搬入時における実態検査を年1回から複数回へ増やし、排出事業者が一層、分別推進等による適正排出を行うよう指導します。また、多量排出事業者への対策として、市の指導に基づき事業者から提出された減量化及び資源化の計画に係る履行状況の正確な把握と指導を徹底することで排出抑制を図るなど、目標数値の達成に向けた取組を推進します。

(知事の所見)

改善計画に記載された改善策である事業系廃棄物搬入時の実態検査の増加、多量排出事業者への指導強化については、いずれも、排出事業者の適正排出を促進する点で事業系ごみの排出量削減に資するものと認められる。

ただし、事業系ごみの排出量は、景気動向に大きく影響され、計画的な削減が困難な側面があることから、今後、排出量の状況に応じ、検査回数をさらに増加させ、又は指導に従わない多量排出事業者に対しては積極的に勧告を行うなど、取組内容に適宜修正を加えることにより、目標達成に向けて着実に取り組まれない。